

令和3年度 緊急対応課題として公募する研究対象概要

研究内容

トマトキバガの防除対策及び効率的な調査手法の確立に向けた緊急研究

研究内容の背景・概要

<研究の必要性>

トマトキバガは、主にナス科植物の茎葉を加害する。特にトマトでは果実を加害し、大きな被害を与えるため、海外ではトマトの大害虫として知られている。本虫は、南米原産であるが、2006年にスペインで発生が確認された後、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布を拡大。さらに2021年5月までに、台湾、中国、中央アジア諸国等の近隣諸国でも発生が確認され、同年10月に国内で初めて熊本県で発生が確認された。

本虫がヨーロッパ諸国に侵入した際には、露地栽培だけでなく施設栽培のトマトにも大きな被害が発生し、オランダやトルコでは、本虫に対する防除措置を講じないと、大幅な減収が発生している。適切な農薬散布を実施すれば、被害は抑えられるとされているが、一方で海外では薬剤抵抗性の報告もあり、適切な薬剤の選択がされなければ、トマトの生産に大きな被害が発生することが懸念される。

このため、緊急的に日本国内に侵入した個体群について、越冬可能性等の基本的な生態や薬剤感受性に関する研究を実施するとともに、海外の情報から、より効率的な防除方法等についての情報を収集する。

<研究内容>

- ① 試験を実施するための効率的な室内飼育法の確立
- ② 薬剤感受性の解明
- ③ 日本における冬季の発生状況及び越冬可能性調査
- ④ トマトキバガの中国、台湾等のアジア諸国における分布拡大経路、発生状況、防除状況等の情報収集

担当

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課
国内防除第1班 中西、藤田
TEL : 03-6744-9644 (直通)

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究統括官(生産技術)室 高橋
TEL : 03-3502-2549 (直通)